

学校だより(いしがき)

第 8 号 令和 3 年 6 月 18 日
文責：校長 石橋 節二 TEL 9 4 - 2 0 3 8

学校教育目標

「ふるさと中原を担う生徒の育成」
～自律と共同を通して～

今回の学校だよりは、中原中学校校歌について、身近な野鳥パート18「ムクドリ」、革命とクーデターの違い
ふるさとの方言No.9、新聞難解語句、難読漢字、6月下旬～8月中旬の行事について紹介します。

◎中原中学校校歌について

学校では、学校の教育概要を記した学校便覧（要覧）というものが毎年作成されます。本校校長室の金庫には、昭和30（1955）年からの便覧（要覧）が残されています。それによると、本校校歌は昭和28年4月27日に制定されています。作詞者は宮崎 安一氏、作曲者は池内 友次郎（いけのうち ともしろう）氏です。宮崎氏については次の機会に紹介し、今回は作曲者である池内友次郎氏について紹介します。

池内氏は、『ホトトギス』で有名な高浜虚子の次男として1906年に東京で生まれました。この方は、日本人として初めてパリ音楽院に入学され、フランス流の作曲技法を日本に紹介されています。また、東京芸術大学作曲科教授として日本の音楽家の育成に尽力され、日本の音楽界では著名な方です。1991年に84歳でご逝去されていますが、全国の高校や中学校の校歌も手掛けられており、本校校歌もそのうちのひとつと思われます。

昭和32（1957）年の学校要覧からは、池内氏の校歌楽譜が掲載されていますが、昭和30年の学校要覧には陶山 聰（すやま さとし）氏の楽譜が掲載されていました。陶山聰顕彰会からいただいた陶山先生経歴資料には、昭和26年に中原中校歌作曲と記録されています。その後、昭和31年頃池内氏作曲の現在の校歌に代わったようです。ちなみに陶山氏も佐賀では有名な方で、鳥栖地区の小中学校で教鞭をとられ、昭和39年3月旭中学校（現在鳥栖西中）校長で退職されました。陶山先生は、佐賀県の東部地区を中心に校歌や社歌など3000以上作曲されています。中原小学校の校歌をはじめ、近隣の学校では鳥栖中、田代中、基里中、鳥栖西中、北茂安中、三田川中神埼中、鳥栖商業高校などの校歌も作曲されています。中原中学校ホームページには、陶山氏が作曲された昔の校歌のメロディもアップしていますので、聞き比べてみてください。

今回は、中原中学校校歌の作詞者である宮崎 安一（みやざき やすいち）氏について紹介します。

○身近な野鳥 パート18 「ムクドリ」

皆さんは、「ムクドリ」という鳥を知っていますか？ムクドリは、ほぼ日本全国に生息している野鳥で、**椋（ムク）の木の実が好き**だということから、ムクドリと名づけられています。ムクドリは**雑食性**で、木の実に限らず種子や、果物や虫などいろいろな物を食べます。特に田畑の害虫を食べてくれることから、益鳥的存在でした。しかし、日本は戦後、高度成長期を迎え街の開発を進めたためどんどん田畑や山が減りムクドリのすみかや餌が奪われるなどムクドリの周りの環境が変わってきました。その結果、生き残るために市街地に生息場所を移して、道路の街路樹や人の家に巣を作るようになりました。現在では、**鳴き声による騒音や糞公害**に悩まされている自治体が多いようです。

ムクドリの大きさは、スズメの2倍ほどで、**くちばしと足が黄色い**ののがすぐ分かります。中原校区でも見かけることができますので、探してみてください。



【漢字よみ】 ①たいじ ②ひぼう ③てんまつ ④らでん ⑤かきん ⑥でんぱ ⑦しょうき

○革命とクーデターの違い

東南アジアのミャンマーでは、軍事クーデターが起き、一般市民の犠牲者が多数出て、大きな問題となっています。ところでクーデターとはどんなことでしょうか？また、革命とはどう違うのでしょうか？

「革命」とは、『現代国語例解辞典（小学館）』によれば「被支配階級が支配階級を打ち倒して、社会体制を変革すること」とあります。つまり、「革命」は独裁政治から民主政へ転換するようなもので、支配される側が支配する側を倒すことで体制が大きく変わることです。「クーデター」は、「武力などによって政権を奪うこと。支配階級内部の権力移動」と書かれています。つまり、「クーデター」は支配する側の中で権力が移動する（しかも武力を用いて）という違いがあります。日本におけるクーデターとしては、1936年の二・二六事件や大化の改新、本能寺の変などがあげられます。

また、歴史の教科書には**乱や変、役、陣**という語句も登場します。それぞれ以下のような違いがあります。

- ①**乱**……主に時の権力者や支配者に反発して起きたもの。ただし、政府や幕府、権力者によって**鎮圧されたもののことを指す**。（なお例外として広範囲にわたって争乱が広がったものも指す）例…島原の乱
- ②**変**……政治の体制などに不満を持った者の起こしたもの。**政権を担っていたものが倒されたものを指す**。例…本能寺の変
- ③**役**……単に戦争のことを指す。戦役という言葉の略称。例…文永の役
- ④**陣**……陣を張るということから転じたもの。局地戦や攻城戦など限られた、狭い範囲の戦いのときに用いられる。例…大坂夏の陣 冬の陣

○ふるさとの方言 No.9

これらは、会話の中で使われますので、前後の文脈があると分かりやすいと思います。この中で、分かる「ことば」がいくつかありますか？使用例等をおじいちゃんやおばあちゃんに聞いてみるのもよいと思います。

- | | |
|------------------|-----------------------|
| ①うっちゃかす・・・落とす | ②うっぽぐっ・・・穴があく |
| ③うてあう・・・相手になる | ④うらめしか・・・うるさい、煩わしい |
| ⑤えーくりゃー・・・酔っ払い | ⑥おおけんなか・・・少ない 物足りないこと |
| ⑦おーどーか・・・意地悪な(人) | ⑧おごらるっ・・・がらるっ・・・叱られる |
| ⑨おしおるっ・・・折れる | ⑩おずむ・・・目覚める |
| ⑪おっとっ・・・盗む 奪う | ⑫おばっちゃん・・・おばさん |

○新聞難解語句

IR（Integrated Resort：統合型リゾート施設）カジノのほかホテルや劇場などが集まった複合的な施設

韋駄天（いだてん）：仏教における神の一つで足の速い神とされ、足の速い人のたとえとして使われる。

誹謗中傷（ひぼうちゅうしょう）：根拠のない悪口を言いふらして、他人を傷つけること

皇嗣（こうし）：皇位継承の第一順位にある者。

戦略と戦術：「戦略」は成功へ向かうための筋道（方向性）、「戦術」は「戦略」を実現するための手段

蟄居（ちっきょ）：家の中にひきこもっていること。江戸時代、武士に科した刑罰のひとつ

凡庸（ぼんよう）：優れたところや取り柄などがなく、平凡であること。凡人。

汎用（はんよう）：広い範囲で用いることができること、応用できるもの

屠る（ほふる）：からだなどを切り裂く

四方山（よもやま）：間。また、世間のさまざまなこと

屯する（たむろする）：一つ所に大量の人が集まる。兵隊が群れ集まる。

○難読漢字（いくつ読めますか？）

- ①対峙 ②誹謗 ③顛末 ④螺鈿 ⑤家禽 ⑥伝播 ⑦瘴気

○6月下旬～8月中旬の行事予定

- ・1学期末テスト 6/22（火）～24（木）
- ・授業参観は中止、選手推戴式 6/25（金）
- ・全校朝会 7/5（月）
- ・1, 2年生二者面談、3年生三者面談 7/26～8/2
- ・全校登校日 8/5（木）

※太文字は全校生徒関係分

- ・不審者対応避難訓練 6/22（火）
- ・三養基神埼地区中体連大会 7/3（土） 7/4（日）
- ・1学期終業式 7/20（火）
- ・県中体連大会 7/24（土）～7/26（月）
- ・学年登校日 1, 2年生 8/23（月）